

都市再生整備計画 事後評価シート
富田林駅南地区

平成27年3月

大阪府富田林市

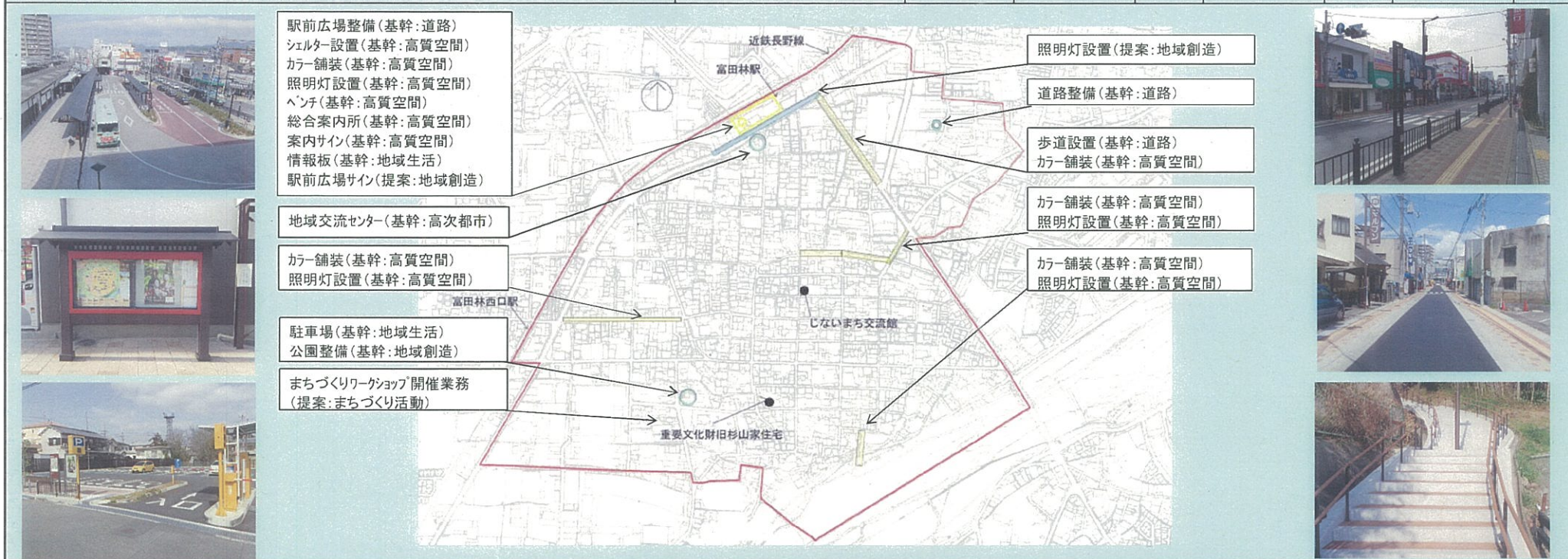
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	富田林市		地区名	富田林駅南地区			面積	54ha			
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	539,300,000	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
			基幹事業	道路[駅前広場・道路]、地域生活基盤施設[情報板]、高質空間形成施設[カラー舗装・照明灯設置]										
	当初計画から削除した事業		提案事業											
			地域創造支援事業[照明灯設置事業]、まちづくり活動推進事業[まちづくりワークショップ]											
	新たに追加した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
基幹事業			無し			無し			無し					
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		交付期間の変更により、新たに道路[道路整備]、地域生活基盤施設[駐車場]、高次都市施設[観光交流センター]、地域創造支援事業[駅前広場サイン事業、公園整備]の事業追加を行ったが、指標、数値指標への影響ない。							
		変更	平成22年度～平成26年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	来街者数	人/年	27,969	H20	32,000	H26	モニタリング	評価値	33,653	○	あり	まちづくり協議会によるイベント活動や空家・空き店舗が有効利用されることによるまちの魅了向上により、まちの賑わいの再生へと繋がり、富田林駅南広場整備工事、道路美装化工事、駐車場整備との相乗効果で、交流館に立つ寄る来街者数の増加を図れた。	平成27年8月
	指標2	空家・空き店舗解消	件	0	H20	4	H26			34	○	あり	有限責任事業組合富田林町屋利活用促進機構の活動及び富田林駅南広場整備工事、道路美装化工事との相乗効果で、当地区内の空家・空き店舗が有効利用された。	平成27年8月
	指標3	富田林駅南地区まちづくり満足度	1～5段階	2.95	H21	3.40	H26			3.74	○	あり	まちづくり協議会によるイベント活動や空家・空き店舗が有効利用されることによるまちの魅了向上により、まちの賑わいの再生へと繋がり、富田林駅南広場整備工事、道路美装化工事、補公通り歩道整備工事との相乗効果で、まちづくりに対する満足度の向上を図れた。	平成27年8月
	指標4											あり		
	指標5											あり		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	イベント回数	回/年	12	H21					18		あり	まちづくり協議会のイベント活動が起爆剤となり、まちづくり活動に対する機運が高まり、当地区内で行われる年間イベント回数が増加した。	平成27年8月
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況														
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	無し					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	市民協働プログラムまちづくり方針策定委員会の実施。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					市民協働プログラムまちづくり方策委員会で作成された市民協働プログラム基本構想を基に、しなないまち四季物語実行委員会、有限責任事業組合富田林町屋利活用促進機構が中心となりまちづくりを促進していく。		
持続的なまちづくり体制の構築	有限責任事業組合富田林町屋利活用促進機構の活動 富田林寺内町実行委員会の設立。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					市民協働プログラムまちづくり方策委員会で作成された市民協働プログラム基本構想を基に、しなないまち四季物語実行委員会、有限責任事業組合富田林町屋利活用促進機構が中心となりまちづくりを促進していく。			

様式2-2 地区の概要

富田駅南地区(大阪府富田林市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
豊かな自然と歴史に育まれた快適都市をめざして一寺内町を核とした地域の活性化、来街者が集まり賑わいのあるまちづくり。 ■寺内町が持っている歴史的な雰囲気より際立たせる住・生活空間の整備。 ■市の玄関口としての顔づくりや駅から寺内町に至るエリアの街並み形成の向上を図る。 ■寺内町に調和した店舗展開による賑わいの創出。	来街者数	単位:人/年	27,969 H20	32,000 H26	33,653 H26
	空家・空き店舗解消	単位:件	0 H20	4 H26	34 H26
	富田駅南地区まちづくり満足度	単位:1~5段階	2.95 H21	3.40 H26	3.74 H26
	イベント回数	単位:回/年	12 H21	— H26	18 H26



まちの課題の変化

- ・環境資源である石川河川敷から富田林寺内町のアクセス道路の美装化工事を行うことにより、来街者の快適性・安全性を高め交通の利便性の向上を図れたが、今後石川河川敷の快適な空間整備を図る必要がある。
- ・富田駅南広場、国道(旧)170号景観照明灯の整備を行うことにより、富田林寺内町の玄関口に相応しい趣のある基盤整備が行え、歩行者の快適性・安全性が向上した。
- ・まちづくり協議会の活動により、商業活性化に向けた「再発見マップ」の作成、「再発見ツアー」の実施を行い、商店会の魅力を対外的に情報発信を行うとともに、各商店会の連携強化を図れた。
- ・まちづくり協議会の活動により空家・空き店舗を有効利用しようという地元住民の意識が向上し、有限責任事業組合富田林町屋利活用促進機構の活動により、多くの空家・空き店舗が解消された。
- ・まちづくり活動が活性化したことにより、今後も持続的にまちづくり活動が行えるよう、地元住民を中心とした新たな人材発掘が行える仕組みづくりを図る必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・有限責任事業組合富田林町屋利活用促進機構の活動強化
空家・空き店舗の解消については地元住民が主役となり推進し、行政は側面支援を行うことにより、商店会の衰退・空洞化に歯止めをかけ、空家・空き店舗の活用を促進する。
- ・歩行者の快適性・安全性の確保
富田林寺内町に訪れる来街者が快適で安全に歩行できる交通空間を確保するための道路整備を行う。
- ・住居空間の環境整備
当地区の住民が今後も住み続けたいと思う住居空間の整備を図るため、富田林西口駅エリアにおいて住民が交流できる施設整備を行い、市民コミュニティの向上を図る。